

鉄道高架と中心市街地の整備をすすめ、快適で魅力あるまちづくりにつなげます

半田市の中心市街地の現状と課題

- JR武豊線、名鉄河和線により市街地が分断され、道路などの整備も遅れ、まちの発展に制約を受けています。
- 古くからの市街地は狭い道路が多く、建物が密集していて、地震・火災などの災害時には大きな被害を受ける恐れがあります。
- 踏切付近は、自動車や歩行者などの円滑な通行が妨げられ、渋滞が発生しています。また、騒音、排気などによる環境の悪化も起きています。

分断のない、回遊性の高いまちへ



中心市街地のまちづくりにつなげるため、「連続立体交差事業」・「土地区画整理事業」を進めます

JR武豊線の連続立体交差事業

市の中心市街地の中央を縦断するJR武豊線を高架化して踏切を無くし、新たな交差箇所を含め12か所の立体交差を整備して東西交通を円滑にします。

JR半田駅前の土地区画整理事業

古くからの市街地であるJR半田駅前で土地区画整理事業を実施することにより、道路・駅前広場・公園などを整備し、宅地の再配置をします。

事業を一体的に実施することで、中心市街地の分断を解消し、東西が連携してまちづくりを進めることができます

まちの魅力が向上します

- 鉄道高架に合わせて道路や駅周辺を整備することで、まちの分断が解消し、地域へのアクセス性や回遊性が高まります。
- 宅地を整形・再配置することで、駅前などへの店舗の集積や、新たな土地利用が生まれるなど、まちの賑わいにつながります。
- 便利な駅、快適な歩行者空間、土地の効率的な利用などにより、人口増、来訪者の増につながります。



【分断が解消し、円滑な通行が確保されます】

安全なまちになります

- 道路、公園、排水施設などの整備により、延焼防止、緊急車両の通行・避難道路・一時避難所の確保、浸水対策が図られます。
- 歩道の整備など、自動車と歩行者のすみ分けを明確にすることで、交通の安全性が高まります。
- 踏切事故が無くなります。

利便性の高いまちになります

- 駅の東西出入口、駅前広場、アクセス道路、駐輪場などを整備することで、鉄道利用者の利便性が高まります。
- 駅施設や駅周辺のバリアフリー化が進み、全ての利用者にやさしく、快適となります。
- 踏切での一旦停止や遮断による渋滞が解消し、交通が円滑になります。

まちの環境が向上します

- 鉄道の騒音や振動、自動車の踏切停止などによる騒音や排気ガスが減少し、まちの環境が向上します。
- 公園や緑地などを整備することで、まちに憩いやうるおいが生まれます。

JR武豊線高架 イメージ

